2026 年 10 月 21 日

報道関係各位

GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社

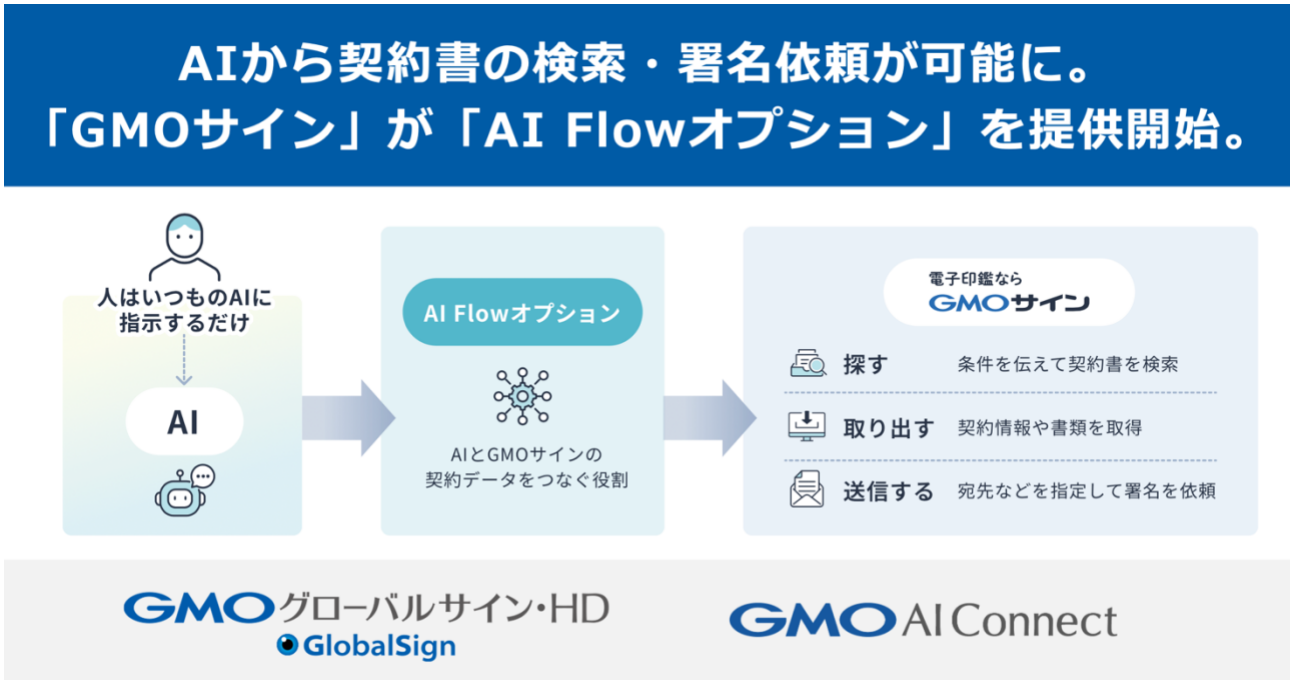
GMO AI コネクト株式会社

AI から契約書の検索・署名依頼が可能に。「GMO サイン」が「AI Flow オプション」を提供開始。

～AI エージェントと契約書等の各種文書データを円滑に連携～

GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社（代表取締役社長：青山 満　以下、GMO グローバルサイン・HD）は、連結会社である GMO AI コネクト株式会社（代表取締役社長：加藤 史恵　以下、GMO AI コネクト）と連携し、電子契約サービス「電子印鑑 GMO サイン」（以下、GMO サイン）において、AI エージェントとの連携を可能にする「AI Flow オプション」を 2026 年 10 月 21 日（水）より提供開始しました。

本オプションにより、普段利用している生成 AI から「GMO サイン」に保管された契約書の検索・参照や署名依頼などが可能になり、契約業務の効率化を支援します。AI と外部サービスを接続する共通規格「MCP」に対応し、契約業務への AI 活用を促進します。



【背景： 世界的な AI 市場の急拡大に伴い、MCP 連携の重要性が高まる】

生成 AI の業務活用が進む中、企業では AI を使った情報検索や文書作成だけでなく、社内システムと連携した業務の効率化・自動化への期待が高まっています。一方、契約業務では、契約書の検索・確認や署名依頼などを行うために、電子契約サービスを個別に操作する必要がありました。

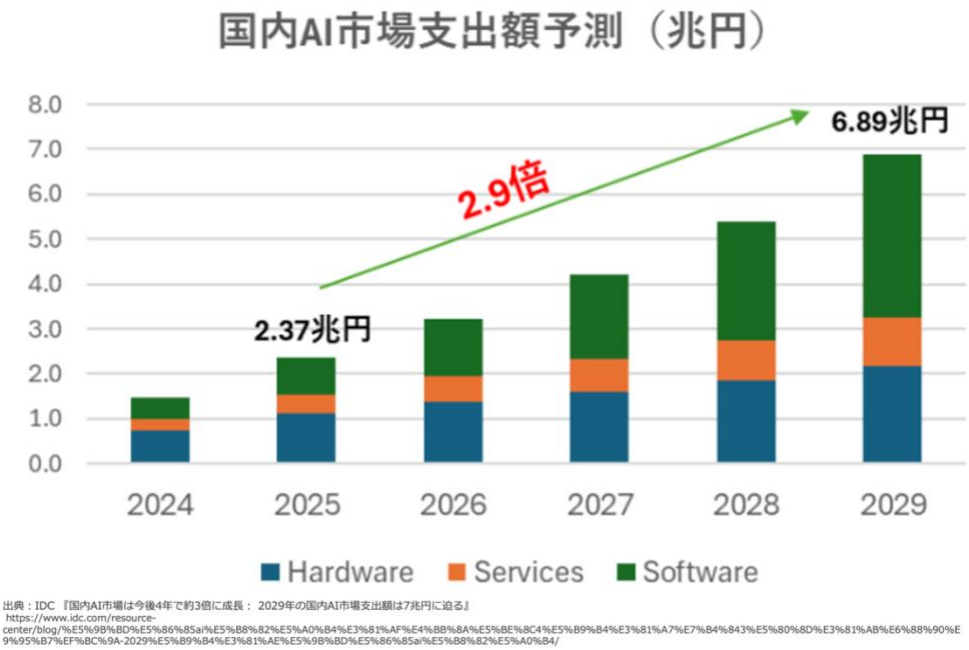
このような課題に対応する技術として注目されているのが、AI エージェントと外部サービスを接続する共通規格「MCP（エムシーピー：Model Context Protocol）」です。

MCP とは、アメリカの人工知能のスタートアップ企業および Anthropic（アンソロピック）が提唱する、様々なシステムに LLM や AI エージェントを接続するための通信規格のことです。2025 年 12 月に

は、Linux Foundation 傘下に「Agentic AI Foundation」が設立され、中立的な業界標準規格として急速に普及しつつあります。

また、IDC の調査によれば、**国内 AI 市場は今後 4 年で約 3 倍に成長し、2029 年の国内 AI 市場支出額は 7 兆円に迫る**とされています。(※1)

ChatGPT が 2022 年に公開されて以降、Gemini、Copilot、DeepSeek など数多くのモデル・サービスが登場し、急速に社会実装が進んでいることから、「GMO サイン」では国内外の AI 需要拡大に応え、AI エージェント連携時の業界標準規格となりつつある MCP に対応するため、2026 年 6 月開催の企業見本市「法務・コンプライアンス EXPO」でのデモ体験の提供・先行申し込みを経て、今回の一般提供開始に至りました。



（※1）出典：IDC『国内 AI 市場は今後 4 年で約 3 倍に成長： 2029 年の国内 AI 市場支出額は 7 兆円に迫る』
https://www.idc.com/resource-center/blog/%E5%9B%BD%E5%86%85ai%E5%B8%82%E5%A0%B4%E3%81%AF%E4%BB%8A%E5%BE%8C4%E5%B9%B4%E3%81%A7%E7%B4%843%E5%80%8D%E3%81%AB%E6%88%90%E9%95%B7%EF%BC%9A-2029%E5%B9%B4%E3%81%AE%E5%9B%BD%E5%86%85ai%E5%B8%82%E5%A0%B4/

【「GMO サイン」の「AI Flow オプション」提供開始について】（URL：https://www.gmosign.com/ai/ai-flow/）

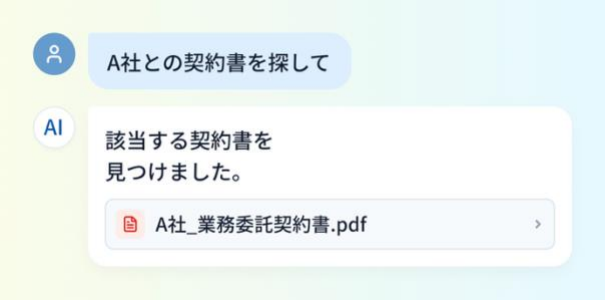
「GMO サイン」は、連結会社の GMO AI コネクトとの協業により、AI エージェント環境を迅速に構築する「AI Flow オプション」を提供開始しました。グループ内で MCP サーバー設計まで完結するオールインワン体制により、伴走型で提供できる点が特長です。

これを機に「GMO サイン」は契約プロセス全体を安全かつ包括的に支える「AI 契約業務プラットフォーム」化を進める方針です。

■リモート MCP サーバーで、簡単・迅速に AI 活用を開始

MCP サーバーには自由度の高さと引き換えに環境構築・保守の負担やセキュリティリスクを伴う「ローカル」と、それらの課題を軽減できるクラウド型の「リモート」の 2 つの種類があります。GMO AI コネクトが提供するリモート MCP サーバーは、多様なシステム連携の実績を持つ同社がセキュリティ管理を担うため、ユーザーは複雑な設定や管理の手間をかけず、簡単な接続設定のみで AI エージェントによる業務自動化を進めることができます。

■ユースケース（一例）

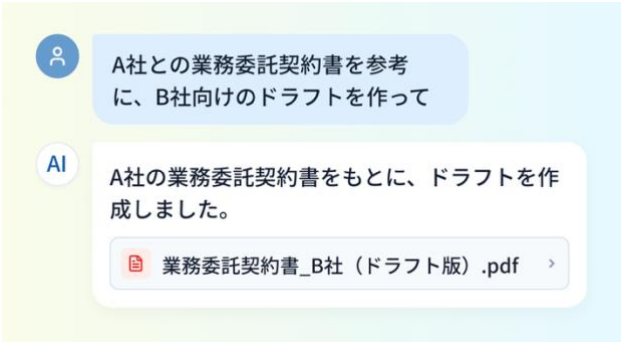


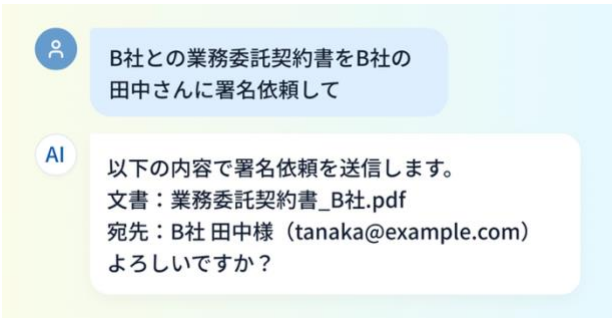
①必要な契約書をAIに聞いて探す

「GMO サイン」に保管している契約書を、生成 AI との会話で検索・参照。条件を伝えるだけで、必要な契約情報をすぐに確認できます。

②過去の契約情報を文書作成に活かす

保管している過去の契約情報を、生成 AI での下書き作成や内容検討に活用。蓄積した契約データを、日々の業務に役立てられます。





③AI との会話から署名を依頼する

生成 AI との会話で宛先などを指定し、署名依頼まで完結。いつもの AI 画面から離れることなく、依頼を進められます。

④AI との会話にあわせて、必要な操作を画面でサポート

生成 AI のチャット上に表示される操作画面から、契約情報の確認や一部の操作を行えます。会話だけでなく画面を見ながら進められるため、より直感的にご利用いただけます。

※画面表示は、MCP Apps（AI チャットの会話画面の中に、地図やグラフ、入力フォームといったインタラクティブな操作画面を追加できる仕組み）に対応した生成 AI でのみご利用いただけます。

※チャット上に表示される画面は「GMO サイン」の管理画面とは異なります。

そのほか、ご要望に応じて様々な業務効率化・自動化のご相談も承っています。

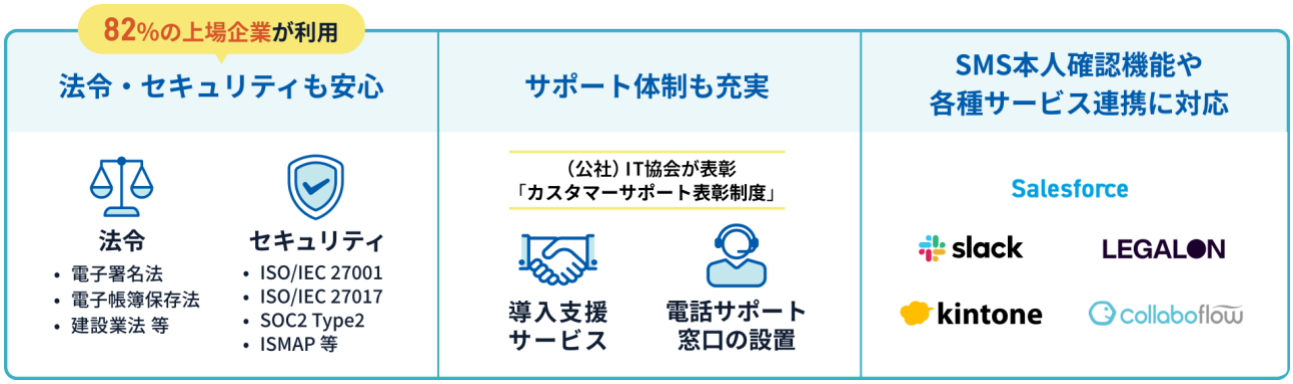
●企業や自治体が導入する SaaS（グループウェア、文書管理、ワークフローなどの各種サービス）と連携
●文書への自動マスキング（個人情報等の非公開部分のマスキングを自動化）
●文書や契約書等を自動的に要約　など

【「GMO サイン」について】（URL：https://www.gmosign.com/）

「GMO サイン」は、契約の締結から管理までをワンストップで行えるクラウド型の電子契約サービスです。2015 年の提供開始以来、日本の電子署名市場の黎明期からお客様の契約締結にかかる手間や時間、印紙税や印刷・郵送費、保管料等のコストを大幅に削減し、業務効率化をサポートし続けています。

電子帳簿保存法や建設業法等の各種法令に加え、国内外の第三者機関によるセキュリティ認証の取得により、高い安全性を評価されているほか、SMS 本人確認機能や他の業務サービス・基幹システムとの連携、導入時の支援サービスや、誰もがご利用いただける窓口の設置等、サポート体制も充実しています。

高機能でコストパフォーマンスに優れた信頼性の高いサービスとして、上場企業の約 82%[※2] にご利用いただいています。



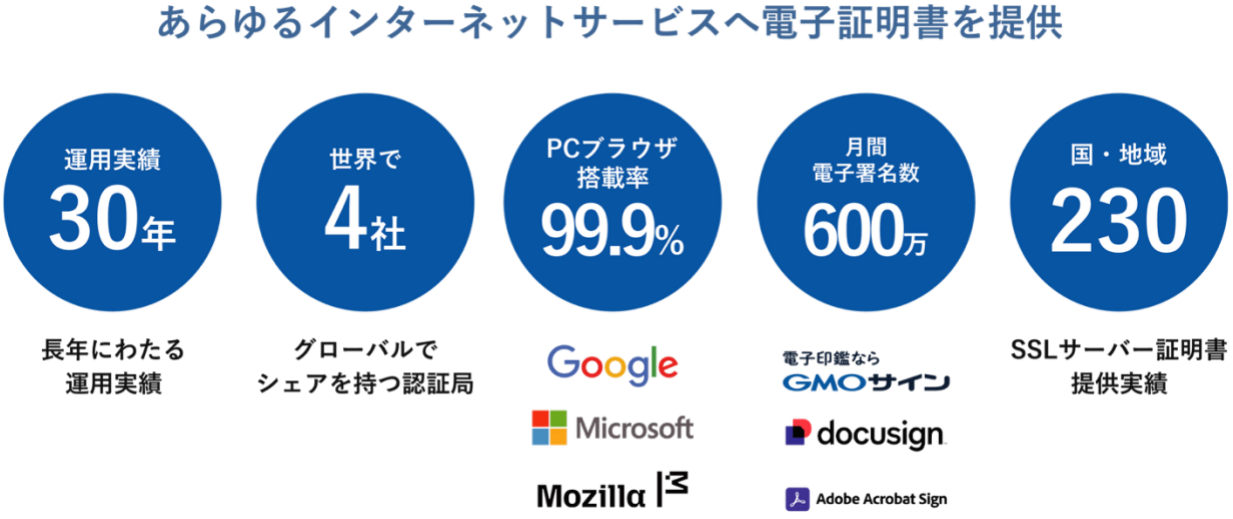
（※2）2026 年 6 月末時点「GMO サイン」利用企業数 3,204 社と 2026 年 6 月末時点日本取引所グループの公式サイトで公表中の上場企業数 3,897 社から算出

【GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社について】

GMO グローバルサイン・HD は、AI 時代のデジタル社会を支える「信頼の基盤」を提供するテクノロジー企業です。

世界で電子認証局を展開する「GlobalSign」を中核に、SSL/TLS サーバー証明書、電子署名、電子契約、ID・アクセス管理、クラウドインフラ、AI 連携基盤など、デジタル社会の安全と信頼を支える幅広いサービスを提供しています。

「電子印鑑 GMO サイン」「GMO トラスト・ログイン」「JOINT AI Flow byGMO」などを通じて、企業や行政のデジタル化を支援するとともに、AI と業務システムを安全につなぐ仕組みや、AI エージェントの身元・権限を検証する技術など、AI 時代に求められる新たな「信頼」の領域へ事業を拡大しています。
今後も「AI × 認証 × インフラ」を軸に、Web サイト、人、企業、デバイス、そして AI まで、あらゆるデジタルのつながりに「信頼」を提供し、世界で必要とされるデジタルトラスト企業を目指してまいります。



【GMO AI コネクト株式会社について】（URL：https://ai-connect.gmo/）

GMO AI コネクトは、生成 AI を企業の日々の業務に組み込むための連携技術を専門とする、GMO グローバルサイン・HD のグループ会社です。

iPaaS×AI エージェント基盤「JOINT AI Flow byGMO」の開発・提供を通じて、会計・人事・営業支援など国内外 120 以上の SaaS と生成 AI をつなぎ、システムごとに分かれたデータや作業を一連の業務として自動化できる環境を提供しています。連携の設計から導入・運用までを支援し、生成 AI が現場で使われ続ける状態づくりに取り組んでいます。

以上

【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社
「電子印鑑 GMO サイン」運営事務局
TEL：03-6415-7444
お問い合わせフォーム：https://www.gmosign.com/form/

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社
社長室 広報担当 大月・遠藤
TEL：03-6415-6100
お問い合わせ：https://form.gmogshd.com/contact/pr/

●GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 望月
TEL：03-5456-2695
お問い合わせ：https://group.gmo/contact/press-inquiries/

【GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社】（URL：https://www.gmogshd.com/）

会　社　名	GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社 （東証プライム市場　証券コード：3788）
所　在　地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号　セルリアンタワー
代　表　者	代表取締役社長　青山 満
事 業 内 容	■電子認証・印鑑事業　■クラウドインフラ事業　■DX 事業
資　本　金	9 億 1,690 万円

【GMO AI コネクト株式会社】（URL：https://ai-connect.gmo/）

会　社　名	GMO AI コネクト株式会社
所　在　地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号　セルリアンタワー
代　表　者	代表取締役社長　加藤 史恵
事 業 内 容	■「JOINT AI Flow byGMO」の企画・開発・運営・販売 ■SaaS 導入コンサルティング・ERP 導入の支援
資　本　金	9,999 万 8,645 円

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL：https://group.gmo/）

会　社　名	GMO インターネットグループ株式会社 （東証プライム市場　証券コード：9449）
所　在　地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号　セルリアンタワー
代　表　者	代表取締役グループ代表　熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社（グループ経営機能） ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資　本　金	50 億円

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。
Copyright (C) 2026 GMO GlobalSign Holdings K.K. All Rights Reserved.
Copyright (C) 2026 GMO AI Connect Co., Ltd. All Rights Reserved.